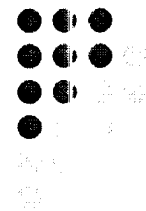


# インフルエンザワクチンの供給体制<昨冬>



11月中旬、一部医療機関から「ワクチンの新規受付が困難」との相談。

## 県内における調整<ワクチン偏在への対応>

- ★ ①県内約700カ所の医療機関におけるワクチンの保有状況を緊急調査し、②ワクチン保有量の多い医療機関の一覧表を作成して、③県医師会・保健所に送付し、④県民からの問い合わせに対応。

12月上旬、県医師会から、すべての医療機関においてワクチンの新規受付が困難になりつつあり、ワクチン確保に努めるよう要請。

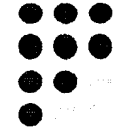
## 厚生労働省の調整によるワクチン確保

- ★ ①県内卸売業者の協力を得て、ワクチンの不足量を調査し、②不足量が約8800人分であることを確認の上、③厚生労働省にワクチンの調整を依頼。
- ★ ④厚生労働省の調整によりワクチン約5000人分を確保し、⑤県内の医療機関に供給。

12月中旬、すべての医療機関においてワクチンの新規受付が不可能になる。

## 県立病院におけるワクチンの一元的な管理

- ★ ①一部市町村から公費期間終了後にワクチンを収集する等によりワクチンを収集し、②県立病院にワクチンを収集して、③ワクチン接種できる体制を確保。
- ★ 山口県等における鳥インフルエンザ発生後は、養鶏関係者にもワクチン接種を勧奨。



# インフルエンザ接種キャンペーンの効果(1)

表1. 公費対象者のインフルエンザワクチン接種状況

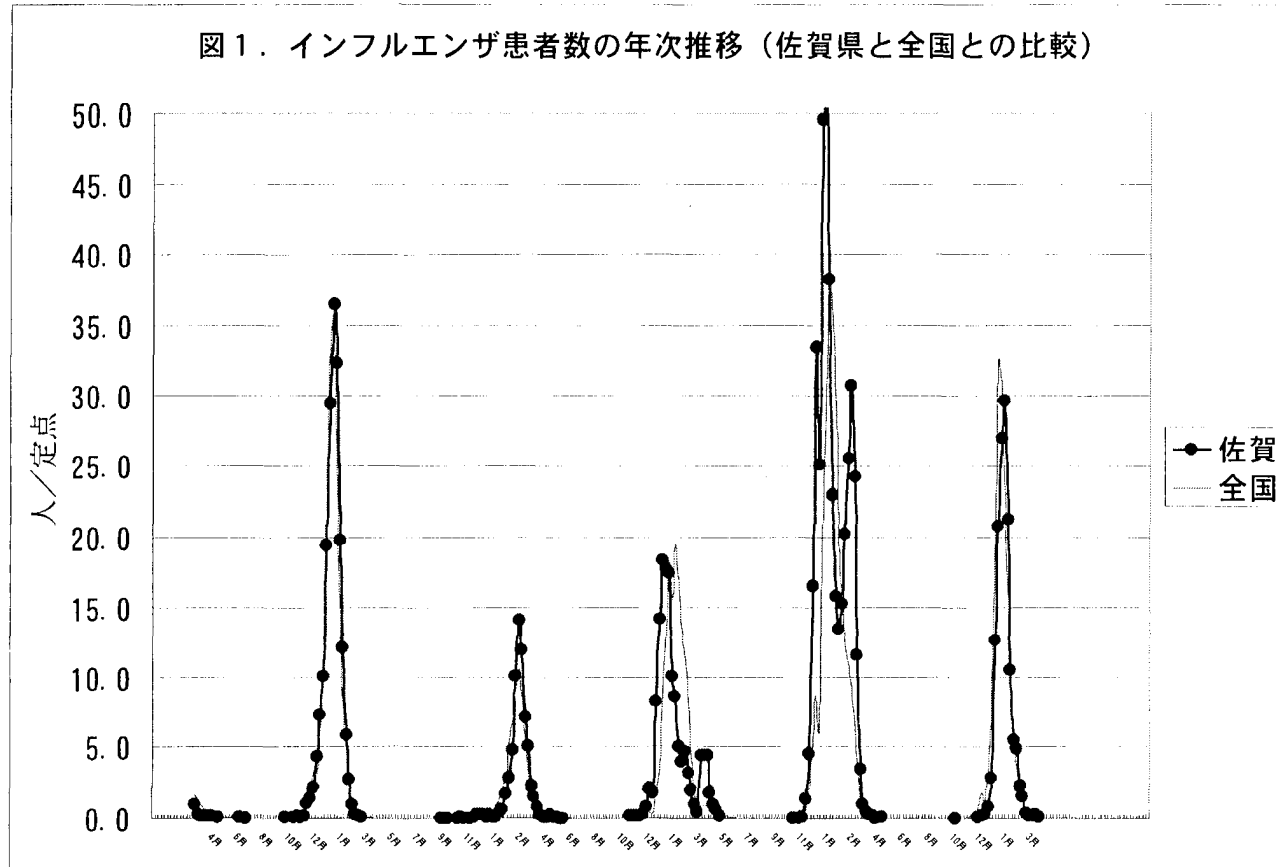
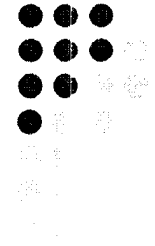
	①接種対象(人)	②接種人数(人)	③接種率(①/②)
佐賀県	188,680人	104,711人	<u>55.5%</u>
全国	24,035,872人	10,706,262人	44.5%

表2. 公費対象者以外も含めた全体のインフルエンザワクチン接種状況(推計)

	①使用本数<前年比>	②人口	③接種率(推計)
佐賀県	133,508 <170%>	874千人	<u>30.6%</u>
全国	14,763,921 <141%>	127,435千人	23.2%

注) ワクチン1本(1ml換算)は2人分という仮定のもとで、③「接種率」=①「使用本数」×2 ÷②「人口」で計算している。実際には成人でも2回接種することもあること等から、接種率は最大値であり、実際の接種率は数値よりも小さいと考えられる。

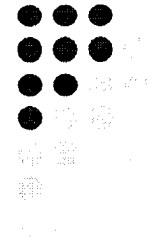
# インフルエンザ接種キャンペーンの効果(2)



**本県と全国の定点当たりの患者数の比(佐賀/全国×100) ⇒ 過去5年間で最低!**

H12年	H13年	H14年	H15年	H16年
103.9	97.6	89.3	158.9	87.7
(188.9/181.8)	(55.4/56.7)	(129.6/145.1)	(418.2/263.2)	(145.4/165.9)

# インフルエンザワクチンの供給体制<今冬の改善点>



## 1. 市町村への要請

- ★ 公費対象期間を12月中に設定するなど、ワクチン

が融通しやすい環境の整備に協力を要請

## 2. 県医師会への要請

- ★ 適正な発注量

- ★ 患者予約のあり方の検討

(「予約」のみでなかなか受診しない方への対応など)

## 3. その他

- ★ 予防接種可否情報の公開のあり方